

# すそみ点滅交差点

## 繭玉のお菓子



繭玉のお菓子は、今となっては味わつことのできない幻のお菓子です。紅白のお菓子で、1袋(10個入り)20円で春喜屋さんで売られていました。春喜屋さんは、養蚕の神さまで日本一社として名高い番影神社の石段下にあるお店です。現在は、3代目の皆川光雄さん(79歳)が経営しています。春喜屋さんに、このお菓子を製造した銅製の型が残っています。ずしりと重い焼き型は年代を感じさせるものでした。もち米を原料に、あるもの(企業秘密)を混ぜ、この型に入れ炭火で焼きます。すると、ふんわりふつくと繭の形になります。砂糖をまぶして出来上がり。ほんのり甘く、サクサクとしたお菓子だったそうです。当時は下館の専門の職人さんが焼き、オートバイで春喜屋さんまで卸してくれていました。その職人さんも今は亡くなり、もう作

ることができなくなっていました。

また、春喜屋さんでは、神郡の桜井菓子店(アンドーナツが有名)製造の、蚕にちなんだ桑の葉模様のお菓子も売っていました。これは、もち米を粉にしたみじん粉に、砂糖と水飴を入れてかため、型で焼いたお菓子。白いお菓子ですが、桑の葉模様の部分のみ、緑に彩色したそうです。桜井菓子店主の桜井実さん(72歳)にこのお菓子の型をみせてもらいました。木製の型は、長く使い込んだ黒々としたものでした。

消えてしまったお菓子はどのような味がしたのでしょうか。もはや私達には想像するしかありません。

遮那ひろみ (神郡地区)



焼き型を前にお話される皆川さん

桜井菓子店の木製の型

## すそみ スケッチ



ちよつと違つぞ、すそみの地震

古来、筑波山周辺は地鳴りの名所として知られ、「寺田寅彦随筆集」や現代の地震学の教科書にもちゃんと書かれています。

揺れ始める直前に「ゴォー」と聞こえるので、その一瞬の差で心構えが出来る為か、揺れ出してもそれ程には魂消ないで居られます。

地鳴りの神々しくも低い音色を聞くと、普段は忘れていた警句を思い出します。「天災は忘れた時分に来る」伝・寺田寅彦

横井俊明(六所地区・地震研究者)

編集を終えて.....

「すそみ」の魅力は、筑波山麓の自然豊かな景色の美しさだけでなく、ここで暮らす人々のおおらかさ、温かさにあります。現代社会で希薄になった人と人の絆や子どもたちを育む地域力が健在です。連続と続く歴史の中にある日々を暮らしを大切にこそ、地域の未来があるのです。地域外からの「すそみ応援団」、学びつつ出番を模索中です。(T)

「すそみ」は、都市「農村をむすぶ」ゆいづくりにプロジェクトの一環として三井物産環境基金から一部助成をいただいています。デザイン:小沢陽子(漆所地区)



筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第4号(平成19年6月30日) 発行・すそみろく編集委員会 TEL029-863-5151(NPO法人つくば環境フォーラム内)



## アンケートにみる 子供の遊び 昔と今

アンケート結果

子供の頃よく遊んだ遊びは?  
子供には「よく遊んでいる遊び」は?

祖父]	ベゴマ	めんこ	竹馬
	かくれんぼ、	兵隊ごっこ	
祖母]	お手玉	おはじき	縄跳び
	石けり、	まりつき	
親・父]	缶けり	野球	
	釣り、めんこ、	ビー玉	
親・母]	缶けり	かくれんぼ	
	ゴム跳び	鬼ごっこ	
子・男子]	ゲーム	サッカー	野球
	鬼ごっこ	カード	
子・女子]	ドッチボール、	ブランコ	
	お絵描き、	ゲーム、読書、	鉄棒

田井エンジョイクラブでは、学校と地域の距離を縮めるため、田井小学校に地域の大人を招いての「昔遊び」を計画。そこで、昔と今の遊びの違いを調べるため、児童と父母、祖父母にアンケートを実施しました。

遊びには時代背景が影響している。祖父母の「兵隊ごっこ」や「陣地取り」は、戦時中か戦後間もない時代を反映している。また、少数ながら「農作業などの手伝い」が「遊び」にあった。そういえば40代の私が子供の頃の遊び、「魚釣り」の魚も晩飯のおかずだった。子供は家族という集団で大事な役割を果たし、農業や風呂炊きなど「手伝い」が「遊び」だったのだ。

当然今の子供の遊びは予想通り「ゲーム」が多い。しかし、スポー

や事故の多いのは「時代」のせいと言われるが、その二文字で片付けることはできない。大人でも楽しいゲームを、子供たちからただ取り上げることもしたくない。

家や学校の窓から見えるのは筑波山をはじめとした緑と空の青さ。恵まれた自然に抱かれながら、出来るだけ戸外で大勢の子供たちとともに遊んでもらいたいと願う。そこには社会性や感受性を養う上で役立つものが必ずあるはずだ。大人は、子供が安心して暮らせる

地域社会をつくるよう努力したい。杉田信司(田井エンジョイクラブ)

田井エンジョイクラブとは  
田井の子供たちの健全な育成と安全・安心な学校生活の支援を目的に、会員自らも活動を楽しみ、子供共々健全な心身を育もうと平成18年10月4日に発足。学校での「炭焼き」のお手伝いや「昔遊び」の実施、自然豊かな田井の名所や通学路のウォーキング、周辺山々のハイキングなどの活動を展開しています。



田井エンジョイクラブのメンバー

筑波山 山麓から山頂までゆったり、ほんわか 緑と空と水と空と 筑波山

筑波山本會社

029-869-5550  
お問合せは結エディットまで

協賛会員「すそみサポーター」募集中! 一口3000円	神郡瓦造形研究会 029-8557-3355	EX-CH (有)電脳賃貸 029-966-305330	ウエムシ・インフォメーションサービス つくば市北条 029-867-1717	つくば市北条 (有)ヒタ木材	つくば市吉瀬 つくば環境フォーラム 田中ひとみ	土浦市西根 筑波大学教授 出口正義	つくば市小沢 上野節子	つくば市白井 諷川隆雄	つくば市白井 菊地つよい	つくば市神郡 神郡区長 櫻井誠	つくば市神郡 600年祭の折形法教授 飯田猷子
----------------------------	---------------------------	---------------------------------	---	----------------	----------------------------	----------------------	----------------	----------------	-----------------	--------------------	----------------------------

私たちが応援してます!

すそみサポーター 敬称略